

2017年度 産学官金連携フォーラム

AIは北海道をどう変えるか

～道内産業におけるAIの可能性から～

自動車の自動運転や産業用ロボットなど様々な分野でAI（人工知能）の応用が急速に発展し、私たちの日常生活にも関係の深いものになりつつあります。従来ではなし得なかった新しい産業・サービス・ライフスタイルがAIを通して次々と構想される中、AIの登場によって道内の産業は、私たちの暮らしはどう変わっていくのでしょうか。研究・実践の両方の側面から、AIを活用した未来を展望してまいります。

参加無料

懇親会

18:00～19:00

3,000円

とき 2017年

3月1日水

15:00～17:50

ところ ホテル札幌ガーデンパレス
(北海道札幌市中央区北1条西6丁目)

1 基調報告《15:10～15:40》

「人工知能のインパクトとこれからの未来」

【講師】 川村秀憲 氏 北海道大学大学院情報科学研究科 教授

北海道大学大学院で人工知能技術の社会応用の研究をされている川村秀憲教授をお招きし、人工知能の基本と現状の到達点、未来への展望についてご講演いただきます。



2 事例報告《15:40～16:40》

【報告者】 入澤拓也 氏
エコモット株式会社
代表取締役



【報告者】 小林晋也 氏
株式会社ファームノート
代表取締役



3 パネルディスカッション《16:50～17:50》

【モデレーター】 村田利文 氏 ムラタオフィス株式会社 代表取締役
【パネリスト】 入澤拓也 氏 エコモット株式会社 代表取締役
【パネリスト】 川村秀憲 氏 北海道大学大学院情報科学研究科 教授
【パネリスト】 小林晋也 氏 株式会社ファームノート 代表取締役

【主催】 産学官連携支援協議会

【後援(予定)】 札幌市、さっぽろ産業振興財団、北海道IT推進協会、北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会
札幌ビズカフェ、No Maps実行委員会

2017年度 産学官金連携フォーラム

講師・発表者プロフィール

川村 秀憲
KAWAMURA HIDENORI



北海道大学大学院情報科学研究科
教授

小学校2年生よりプログラミングを始める。プログラミング、人工知能の研究をするために大学に入学。自分でプログラミング開発しつつも、自分の能力を超えたものを作りたい。ニューラルネットワーク、機械学習などへの興味を経て、創発的計算、複雑系工学に興味を広がる。マルチエージェントシステムを対象にシステム設計から応用までの研究に発展する。現在、研究室学生とともに人工知能技術の社会応用、社会実装に関する実践研究を行う。

2000年3月
北海道大学大学院工学研究科
博士後期課程修了、博士（工学）
2000年4月～
北海道大学大学院情報科学研究科 助手
2006年10月～
北海道大学大学院情報科学研究科
准教授
2016年1月～現在
北海道大学大学院情報科学研究科 教授
ミシガン大学客員研究員、人工知能学会
誌編集委員、株式会社アベジャ技術顧問、
澤標アナリティクス株式会社技術顧問、AI
TOKYO LAB&Co.上級顧問、サンクレ
工顧問などを歴任。株式会社調和技研、
フュージョン株式会社取締役。

村田 利文
MURATA TOSHIFUMI



ムラタオフィス株式会社
代表取締役

1956年江別市生まれ。北海道大学大学院
修士課程在学中の1980年、ITベンチャーの
株式会社ビー・ユー・ジーを共同設立し取締
役。その後デジタルファーム、ビジョン・コー
ポレーション、ソフトフロント、ムラタオフィス
と、IT企業を連続して設立し、代表取締役を
歴任。公的活動では、IntelligentPadコン
ソーシウム、札幌BizCafeの設立に関わっ
た。複数のIT企業の非常勤取締役・顧問
も兼務。2016年に札幌AI勉強会を発足さ
せた。

1981年3月
北海道大学大学院修士課程修了（電子工学専攻）
1999年
札幌BizCafe設立、初代代表
2007年
NPO法人札幌ITフロント理事
2008年～2010年
北海道情報産業クラスター・フォーラム
運営会議副議長
2009年4月
ムラタオフィス株式会社設立
代表取締役（現職）
2011年
北海道IT戦略検討委員会委員
2016年3月
札幌AI勉強会設立
現在、他にIT企業の非常勤取締役、顧問を複数兼務。

入澤 拓也
IRISAWA TAKUYA



エコモット株式会社
代表取締役

1980年生北海道札幌市出身。
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
で携帯コンテンツの企画・開発に従事。プ
ロデューサーとして、有料会員数10万人超
を誇る「ポケット効果音」など人気サイトを
手がける。2007年1月同社を退社し、同年
2月にエコモット株式会社を設立。
北海道IT推進協会理事、北海道モバイル
コンテンツ・ビジネス協議会副代表幹事、
NPO法人札幌ビスカフェ副代表理事。

2002年
米ワシントン州
Highline Community College卒業
2007年
エコモット株式会社設立、代表取締役
2010年
小樽商科大学大学院商学研究科
アントレプレナーシップ専攻修了
経営管理修士（MBA）

小林 晋也
KOBAYASHI SHINYA



株式会社ファームノート
代表取締役

北海道帯広市出身。
2001年旭川工業高等専門学校卒。機械部
品の商社で営業を担当し、2004年株式会
社スカイアークを創業、代表取締役に就任。
日本シェアNo.1 CMS「Movable Type」
の拡販を行い、160社の大企業顧客開拓と
1000社を超える製品販売実績を達成（代
表取締役は現任）。2014年に株式会社
ファームノートを立ち上げ、代表取締役に
就任。

2004年
株式会社スカイアーク創業、代表取締役
2014年
株式会社ファームノート創業、代表取締役

■主催 産学官連携支援協議会

■後援（予定） 札幌市、さっぽろ産業振興財団、北海道IT推進協会、北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会、札幌ビスカフェ、No Maps実行委員会

■申込方法 参加希望者は、企業・所属機関名、役職、氏名、電話番号、FAX番号、e-mailアドレス並びに懇親会の出欠を明記のうえ、
2月27日までにe-mailまたはFAX申込書にてお申し込みください。

■お問合せ 産学官連携支援協議会事務局（一般社団法人北海道中小企業家同友会）TEL.011-702-3000 FAX.011-702-9573（担当：菊池）

産学官金連携フォーラム申込書

■企業・所属機関名

■住所

■TEL

■FAX

■e-mail

参加者氏名	役職名	懇親会
		出/欠
		出/欠
		出/欠

【お申し込み締切】2017年2月27日まで

【申し込み先】産学官連携支援協議会事務局
北海道中小企業家同友会札幌事務局

FAX.011-702-9573

※本参加申込書にご記入いただいた個人情報は、本フォーラムの実施、運営以外に使用することはありません。